

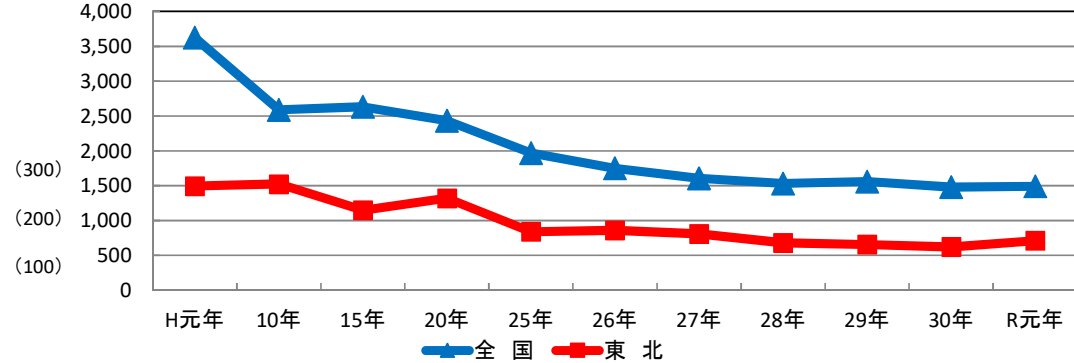
4 畜産環境問題

4-1 苦情発生戸数

- 畜産経営に起因する苦情発生戸数は、減少傾向で推移してきたが、令和元年は142戸で前年に比べ18戸増加した(前年比14.5%増)。
- 全国に対する東北管内の苦情発生割合は、令和元年が9.5%となり、近年は横ばいで推移。

〔単位：戸〕
〔()内は東北〕

畜産経営に起因する苦情発生戸数



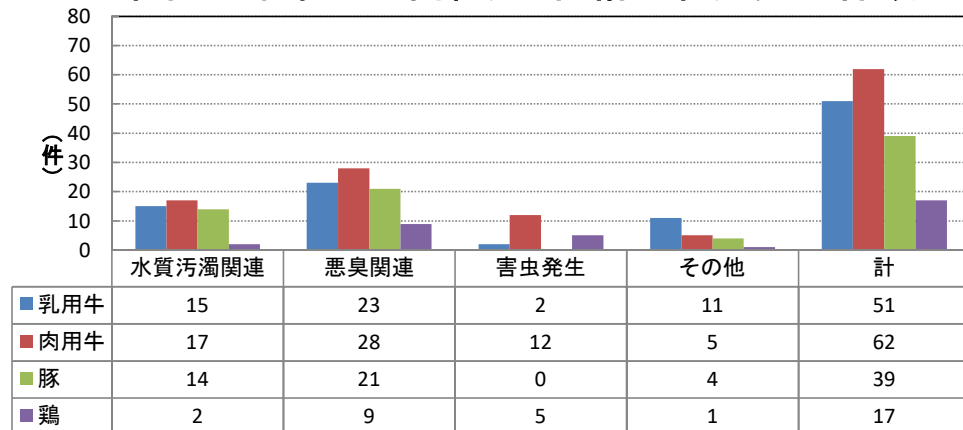
区分	H元年	10年	15年	20年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	R元年	対前年比
全国	3,623	2,588	2,633	2,433	1,970	1,751	1,604	1,532	1,559	1,480	1,491	100.7
東北	299	305	230	264	168	172	162	136	131	124	142	114.5

資料：農林水産省生産局畜産部及び東北農政局畜産課調べ
注：調査対象期間は、前年7月1日から翌年6月30日まで。

4-2 苦情発生件数

- 畜種別苦情件数は、肉用牛62件(36.7%)、乳用牛51件(30.2%)、豚39件(23.1%)、鶏17件(10.1%)。
- 苦情内容別では、悪臭関連が81件で最も多く、次いで水質汚濁関連が48件となっており、悪臭関連と水質汚濁関連で苦情の約8割を占める。

令和元年東北の畜種別・苦情内容別発生件数



資料：東北農政局畜産課調べ(馬等を除く)。

注：発生件数には、苦情内容が重複している場合を含む。その他は、堆肥散乱等への苦情である。
調査対象期間は、前年7月1日から翌年6月30日まで。